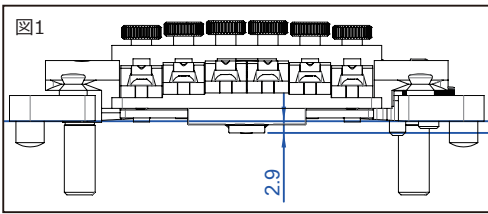


# FRX Installation Foreword

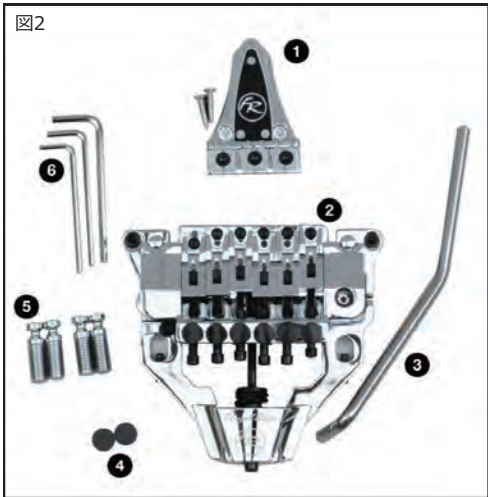
この度はフロイドローズ“FRX”トレモロシステムをご購入頂きありがとうございます。FRXはチューン・オー・マチック&ストップ・テールピース・スタイルのブリッジが搭載されたギターへのリプレイメント・トレモロとしてデザインされています。取り付けについてはリアショップ等にご依頼されることをお勧めします。

**注意：** 取り付けるギターによっては、FRXが動作する上でネック仕込み角度が十分でなく、本体に若干の加工を必要とする場合があります。ベースプレート下部のスプリングテンション・トランスファーロード受け部はわずかにブリッジの下方に出ているため、ネック仕込み角度が浅い場合にはボディと干渉します。この部分が当たって適切な弦高が得られない場合には小さな溝を掘る必要があります。取り付けの際、この部分には特に注意を払って下さい。

また、取り付けるギターによってはトラスロッドカバーを外すだけではトラスロッド調整レンチが入らない場合があります。その際にはロックナット部を取り外し、調整を行ってください。



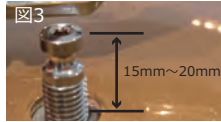
## FRX Package Contents



- 1) FRX ロックナット/トラスロッドカバー (取り付けビス2本)
- 2) FRX トレモロブリッジ
- 3) FRX トレモロアーム
- 4) ナイロン・ボディガードパッド (2)
- 5) FRXマウントボルト \*アンカーは付属しておりません。  
ミリサイズM8x1.25P (2) & インチサイズUNC 5/16-24 (2)
- 6) 六角レンチ2mm, 2.5mm, 3mm

### ステップ1) マウントボルトの取り付け

チューン・オー・マチック・ブリッジ、ストップ・テールピースを取り外し、テールピースのアンカーにFRXマウントボルトをねじ込みます。マウントボルトはミリサイズ、インチサイズの二種類を付属していますので、サイズの合う方を使います。ボルト上部がボディトップから15~20mm位の高さに左右合わせて下さい。



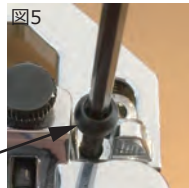
### ステップ2) FRX取り付け準備

図4のように弦高調整スクリーを下げた状態にして下さい。スクリーが上がった状態だとブリッジ下部がボディに当たる場合があります。



弦高調整スクリー

セットアップをスムーズに行うため、トレムステイブル・ボールポストを取り外して下さい。



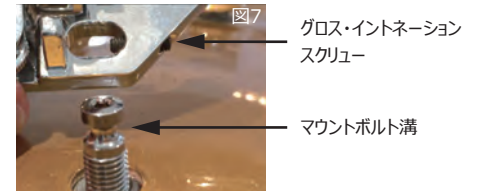
トレムステイブル・ボールポスト

**警告：** ナイロン・ボディガードパッドを取り付けずにFRXをマウントすると、ボディに凹みが生じます。ボディガードパッドの貼り付け位置については後述します。



### ステップ3) FRXトレモロブリッジの取り付け

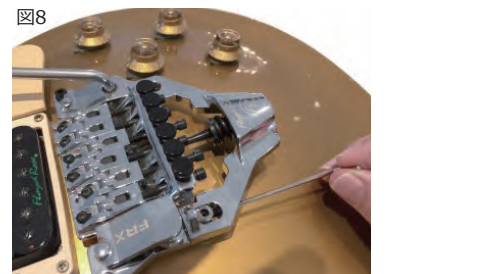
ブリッジをギターに載せ、マウントボルト溝にグロス・イントネーション・スクリーを合わせます。



グロス・イントネーションスクリー

マウントボルト溝

グロス・イントネーション・スクリーを奥まで締めた後、マウントボルトがスムーズに回る位置まで少し緩めます。



ナイロン・ボディガードパッド裏の粘着保護シールを剥がし、弦高調整スクリーの下に貼り付けます。



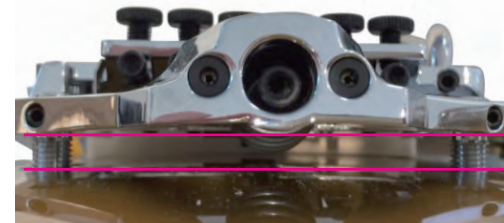
ナイロン・ボディガードパッド

### ステップ4) 弦高の設定

図10のように1弦と6弦の2本だけ弦を張ります。1弦及び6弦が任意の弦高になるよう、弦高調整スクリーで調整します(図11)。この時、ボディエンド側から見てブリッジとボディトップの隙間が左右同じであることを確認して下さい(図12)。左右の高さが違う場合にはマウントボルトで調整します。



図12



弦高が調整できたら、ブリッジ下部のパーツがボディに干渉していないか確認して下さい。また、弦高調整スクリーが左右共にナイロンパッドにしっかり接触しているかどうか確認して下さい。

もし1弦の弦高が高すぎ、尚且つ弦高調整スクリーがナイロンパッドから浮いているようであれば、1弦側のマウントボルトを少し下げたから再度弦高を調整します。

### ステップ5) ロックナットの取り付け

2本の弦を使用してロックナットの位置を決めます。穴を開ける前に、弦が正しく既存のナット溝に入っていることを確認して下さい。2.5mmドリルで下穴を二箇所開け、付属のネジでロックナットを取り付けます。下穴がヘッドを貫通しないように注意して下さい。

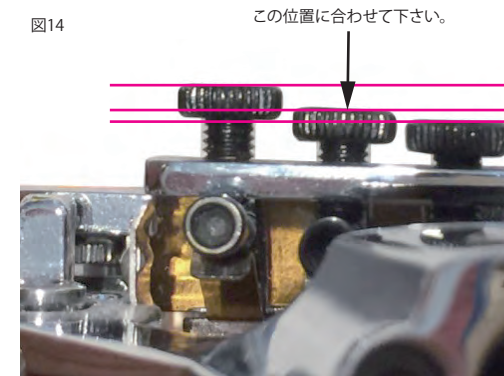
図13



### ステップ6) 弦の取り付け

ファインチューナーを稼動範囲の真ん中より少し下にセットした後、残りの弦を張りチューニングを行います。

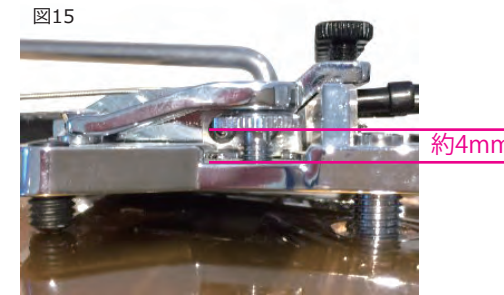
図14



この位置に合わせて下さい。

ヒント：弦をサドルに固定する際、アームダウンするかトレムストップ・サムスクリーを上に上げることで、六角レンチで回しやすくなります。サムスクリーの高さを変更した場合には図15に示した位置にリセットするして下さい。

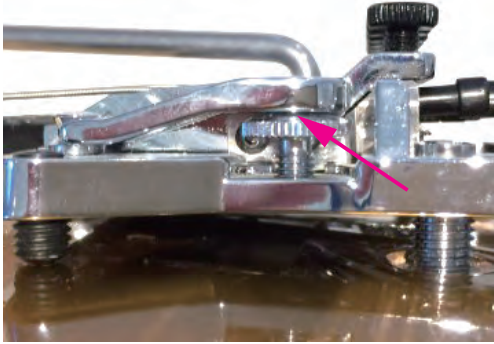
図15



約4mm

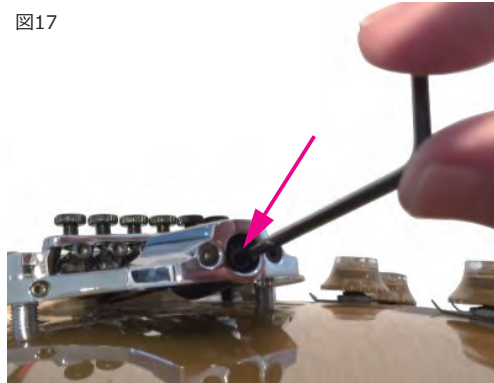
ベースプレートがトレムストップ・サムスクリューに当たっているか確認してください。

図16



ベースプレートがトレムストップ・サムスクリューに載っていない場合、スプリングテンション・トランスファーロードを締め、スプリングのテンションを調整して下さい(図17)。

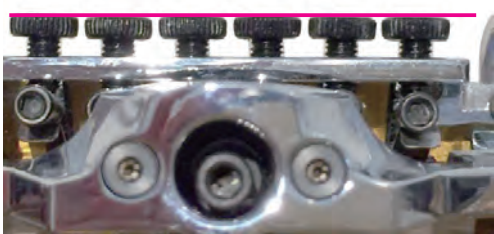
図17



### ステップ7) チューニング

ファインチューナーが稼動範囲の真ん中より少し下の位置にセットされていることを確認し、可能な限り正確なチューニングをして下さい。この時、ファインチューナーは動かさず、ペグのみを使用します。

図18



オクターブ・チューニングを確認し、サドルマウントスクリーンをゆるめサドル位置を調整します。全ての弦でオクターブ・チューニングを確認した後再度、チューニングを行います。

### ステップ8) ナット部のロック

ロックナットのナットキャップ・スクリューを締め、弦をロックします。(図19) ナット部で弦をロックするとチューニングが狂いますので、ファインチューナーで調整して下さい。この時点では、ブリッジのベースプレートはトレムストップ・サムスクリューに載っているため、アームダウンのみの設定になります。この設定では、アームアップすることはできません。

図19



### ステップ9) フローティング・セットアップ

トレムストップ・サムスクリューを下げることで、フローティング・セットアップに変更できます(図20)。この場合チューニングは、スプリングテンション・トランスファーロードを回すことで調整して下さい(図21)。(締める→全体のチューニングが上がる、緩める→全体のチューニングが下がる) その後ファインチューナーで微調整を行って下さい。

図20

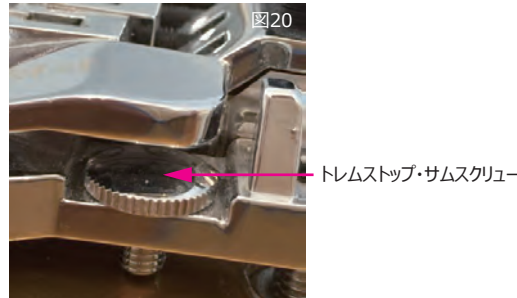
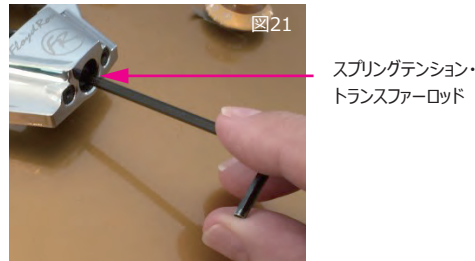


図21



### ステップ10)

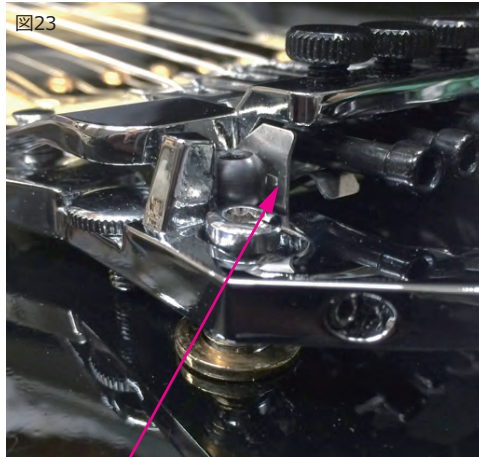
フローティング・セットアップではトレモロの動きが敏感すぎると感じる場合には、トレムステイブル・ボールポストを取り付けて下さい。これによりFRXはアップとダウンの中間点で安定しやすくなります。

図22



ベースプレートに取り付けられたリーフ・スプリングの凹みに噛み合うまでボールポストをねじ込みます(図23)。まずは大まかにボールポストをセットして、いずれかの弦でチューニングを確認します。次にアーミングをして再び同じ弦のチューニングを確認し、ボールポストの位置を微調整します。

図23



動画による取り付け手順についてはFloyd Rose公式サイトか(下記QRコードよりアクセスできます)、YouTubeのFloyd Rose公式サイトチャンネルをご覧ください。



Floyd Rose®

FRX  
SURFACE-MOUNTING TREMOLO SYSTEM

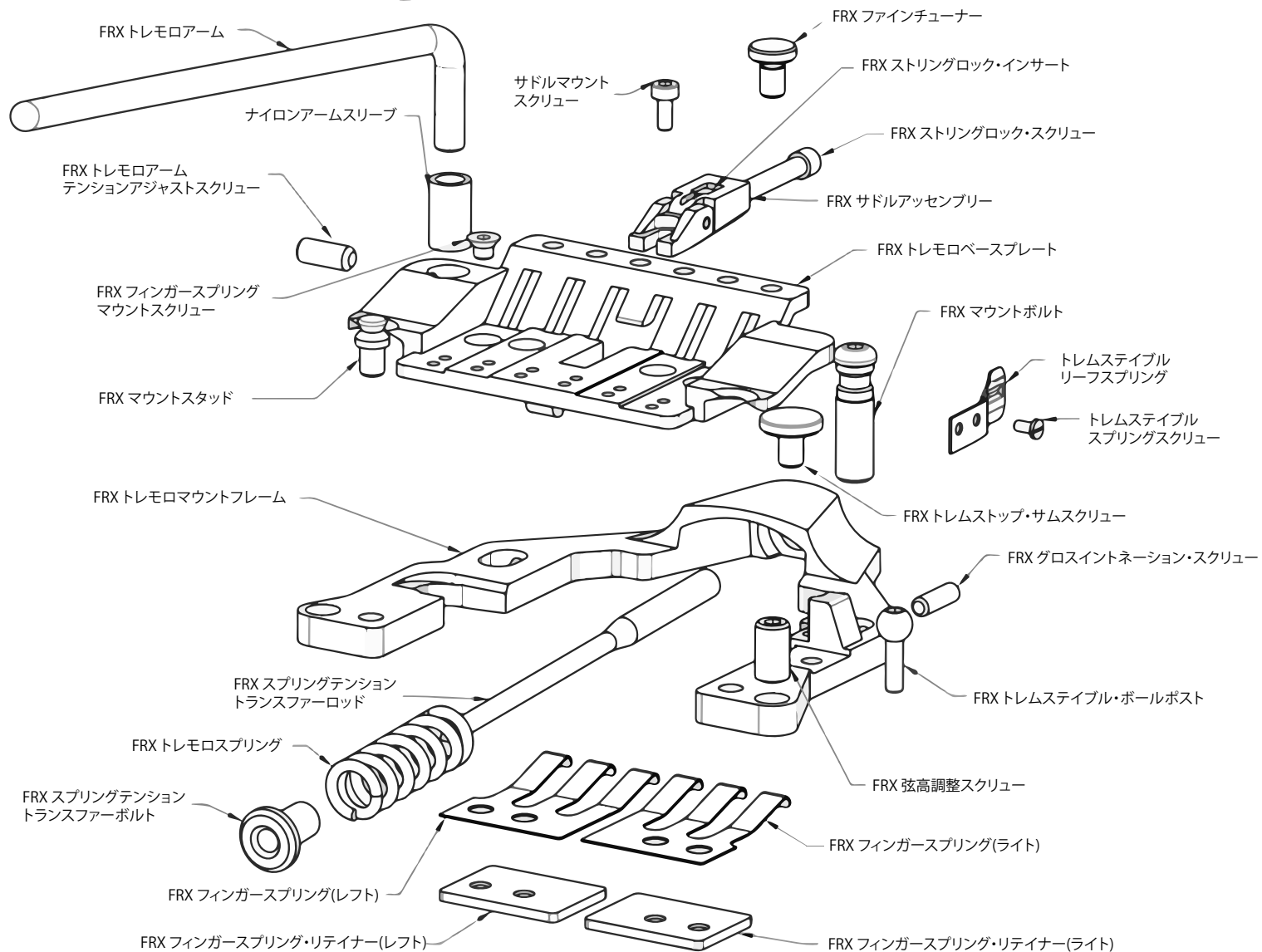
# Installation Instructions



floydrose.com

総輸入元: 株式会社イー・エス・ピー  
〒354-0046 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東3-9  
TEL 049-274-3810  
http://www.espguitars.co.jp info@espguitars.co.jp

# Floyd Rose



## Floyd Rose FRX Tremolo